

## V 日高振興局

### 1. 重点プロジェクト【梅産地の競争力強化と労働力確保対策】

#### ～低樹高化（カットバック）＋摘心処理による青梅生産拡大～

農業水産振興課では、うめ研究所、JA紀州、みなべ町と連携し、青梅の生産性向上を図るため、ウメ「南高」の低樹高化（カットバック）に摘心処理を組み合わせた現地実証園（みなべ町熊瀬川地区、同清川地区）を設置している。

カットバック処理は、樹高や着果位置が低下し青梅収穫等の作業が容易となる反面、結果枝が一時的に減少するため、翌年の収量が低下する課題があった。

そこで、新梢の摘心処理を組み合わせることにより、徒長枝となる枝を結果枝化し、収量の確保に取り組んでいる。また、この処理により冬季のせん定作業の省力化も可能である。

6月15～23日、熊瀬川地区及び清川地区で収量調査を実施した。

1樹あたりの目標収量は90kgに設定しているが、熊瀬川実証園（設置4年目）は73.4kg、清川実証園（設置3年目）は109.7kgであった。

両実証園とも、着果位置が下がることにより収穫作業が容易だった上、前年より収量が増加しており、概ね良好な結果を得ることができた。

今後は、11月頃にみなべ町西本庄地区及び日高川町松瀬地区で、カットバック処理現地研修会を実施して周辺農家への導入推進を図ることとしている。

#### 収量調査結果

	調査本数 (本)	合計収量 (kg)	1樹あたり収量 (kg)
熊瀬川実証園	4	294.8	73.7 (前年:46.4)
清川実証園	6	657.9	109.7 (前年:48.5)



熊瀬川実証園



清川実証園